

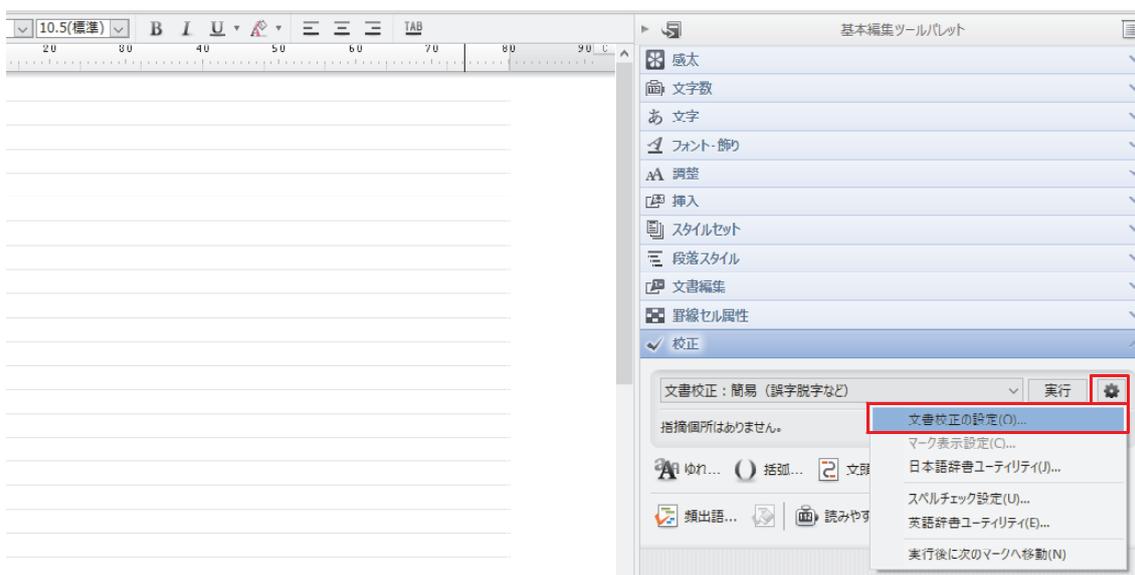
## 【一太郎 2020 編】

### 都道府県名を所定の入力様式に整えるマル秘テク

法律文書、登記や公用文などに住所や所在地を記載する際には、都道府県名を「省略する」「同じ県内は省略」「政令市（大阪市や札幌市）は省略」など、さまざまな入力様式が求められることがあります。一太郎 2020 の文書校正機能を利用すれば、素早く確実にチェックできて便利です。

#### ●文書校正の設定を行う

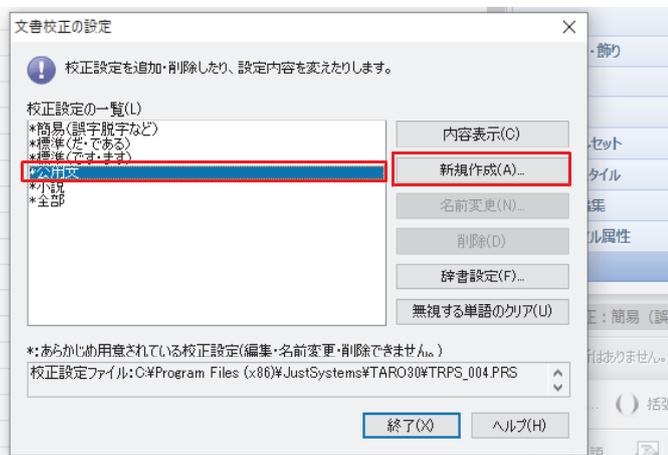
1. ツールパレットの [校正] パレットを開きます。[オプション] をクリックして、[文書校正の設定] を選択します。



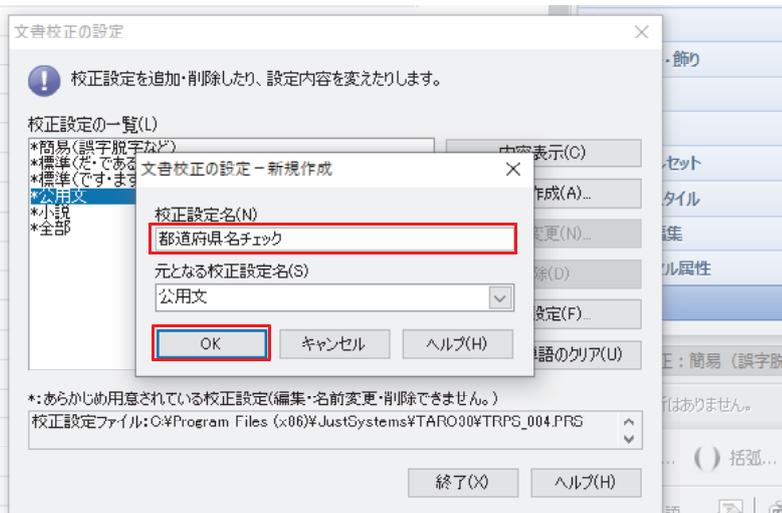
↓

2. [文書校正の設定] ダイアログボックスが開きます。[校正設定の一覧] で元になる校正設定を選択して、[新規作成] をクリックします。ここでは [公用文] を選択しています。

※先頭に \* の付いていない任意の校正設定を選択しても OK です。その場合は、[編集] をクリックします。

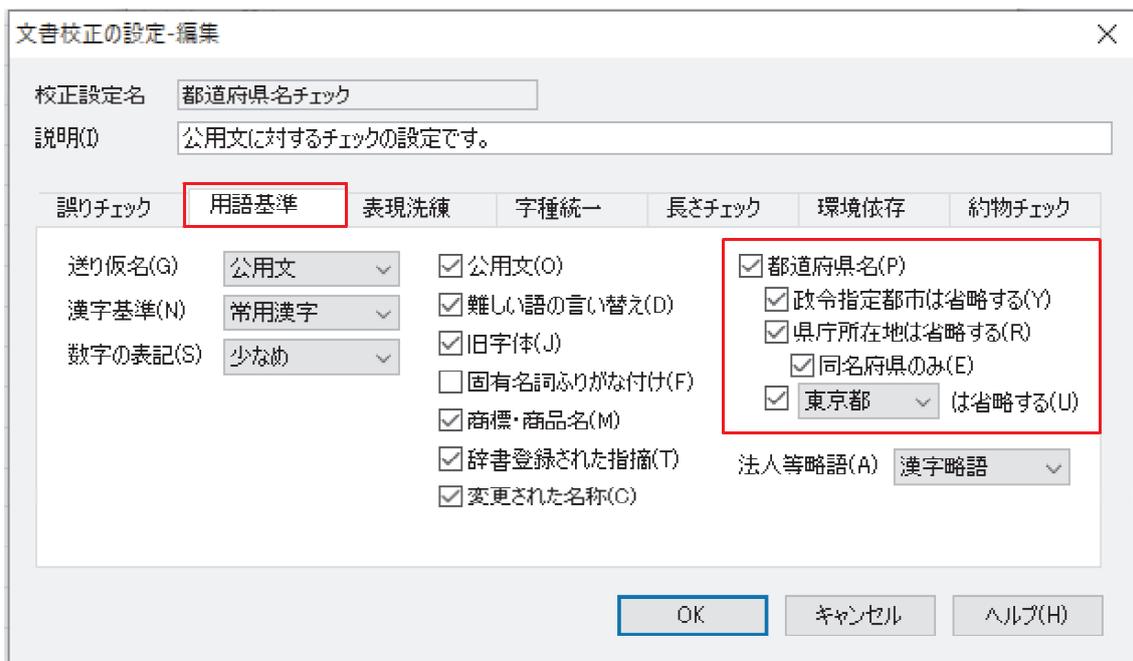


- ↓
3. [校正設定名] に任意の名前を入力して [OK] をクリックします。

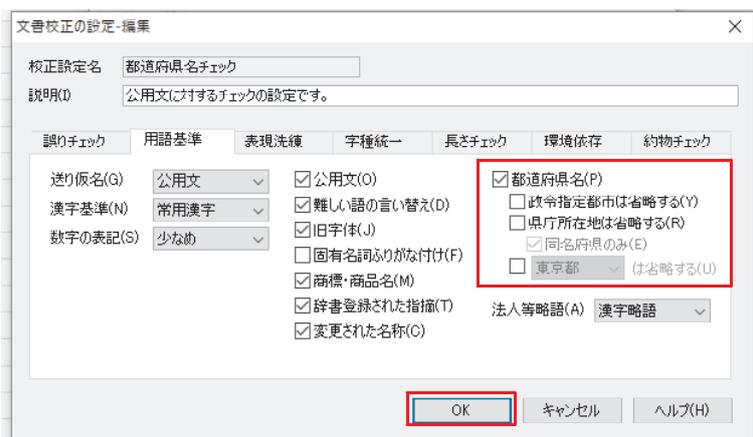


- ↓
4. [文書校正の設定-編集] ダイアログボックスで [用語基準] シートを開き、[都道府県名] にチェックを入れ、揃えたい様式に応じた内容に設定します。

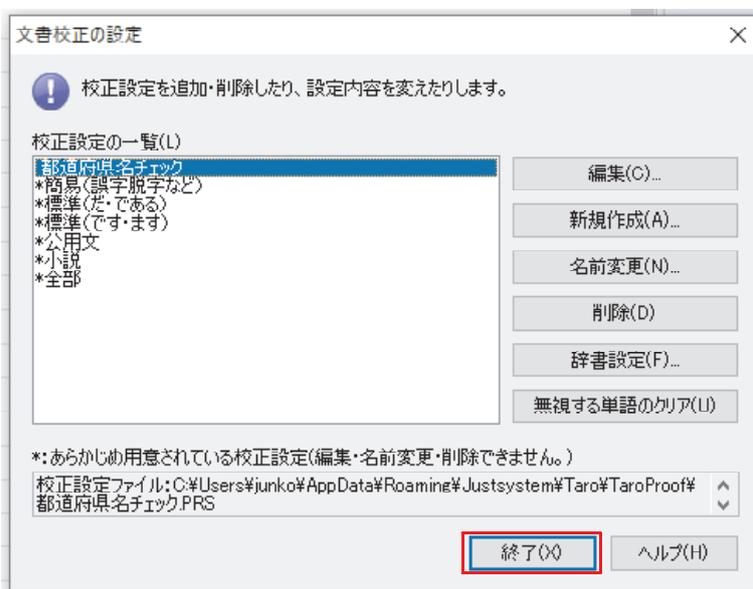
- ・ [政令指定都市は省略する] がオン  
「神奈川県横浜市」「福岡県北九州市」などを「横浜市」「北九州市」に
- ・ [県庁所在地は省略する] がオン  
「富山県富山市」「石川県金沢市」などを「富山市」「金沢市」に  
※ [同名府県のみ] もオンのときは「富山市」「石川県金沢市」になるよう指摘します。
- ・ [〇〇は省略する] がオンで、特定の都道府県名を選択  
[東京都] を選択すると「東京都新宿区」「東京都八王子市」などを指摘します。



5. 揃えたい様式に応じた内容に設定したら、[OK] をクリックします。

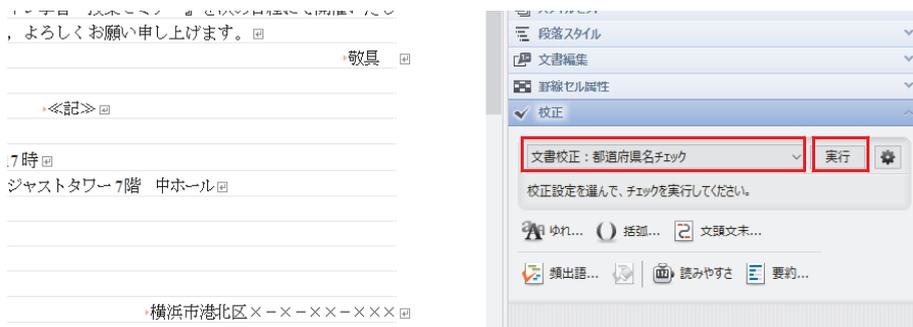


6. [文書校正の設定] ダイアログボックスに戻るので、[終了] をクリックして閉じます。

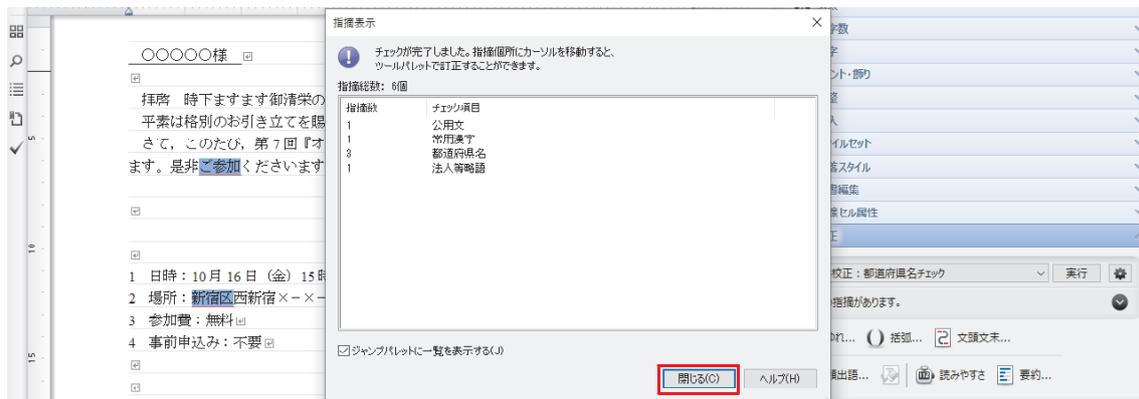


●設定した文書校正で校正を行う

7. 文書を作成できたら、ツールパレットの [校正] パレットを開きます。都道府県名の設定を行った校正設定を選択し、[実行] をクリックします。



8. 文書校正が実行され、[指摘表示] ダイアログボックスが表示されます。[閉じる]をクリックします。



9. 設定に応じて指摘されるので、指摘理由や置換候補を確認します。[置換]をクリックすると文字列が置き換わります。必要に応じて反映して文書を整えましょう。

